

地域住民の皆様へ

高機能消防指令センター運用開始に伴う『災害情報テレガイド』のご案内

- ☎災害の問い合わせについて
高機能消防指令センター運用開始に伴い、地域住民の皆様へ災害発生の情報提供を目的とした『災害情報テレガイド』の運用を始めました。
管内で発生中の**火災・救助(※)**事案情報を音声ガイダンスで提供します。
お気軽にご利用ください。
- ◎救急・ヘリ(防災消防ヘリ・Drヘリ)などの支援活動は、「災害発生なし」と流れます。
- ◎救急・ヘリ支援活動は基本的に消防車でを行います。消防車のサイレンを鳴らしながら走行します。
火災とお間違えの無いようお願いします。

火災・救急・救助は 119番へ

☎CALL 119
119通報をすると「場所・内容・氏名・電話番号」を通信指令課員が伺います。

- 場 所・・・消防車または救急車が向かう場所
(住所や誰でもわかる大きな目標物[交差点名・病院・店舗・橋など])
- 内 容・・・どうした(いつから、誰が[年齢・性別]、既往歴、かかりつけ医など)
- 氏 名・・・通報者のお名前
電話番号・・・119通報した電話番号

◎ 問い合わせ先
(平日)上益城消防本部・警防通信指令課 Tel. 096(282)1969
(夜間・休日)上益城消防署 Tel. 096(282)1955
※災害情報テレガイド Tel. 096(281)7100

落ち着いて！
ゆっくり！
はっきり！と

農業委員会の組織・選出基準の見直し等が行われ、農業委員の選出方法の変更・農地利用最適化推進委員が新設されました。

現在の農業委員会制度	問題点	新農業委員会制度
<p>●農業委員 32名</p> <p>選出方法</p> <p>■公職選挙法に準じる選挙制による選出 24名</p> <p>■各種団体からの推薦による選出 8名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上益城農業協同組合・・・1名 ・阿蘇農業協同組合・・・1名 ・共済組合・・・1名 ・土地改良区・・・1名 ・議会・・・4名 <p>業務内容</p> <p>①合議体としての決定行為</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の権利移動の許可 ・都道府県知事の農地転用許可に関する意見具申 ・農業及び農民に関し、意見公表、行政庁への建議 <p>②地域における現場活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地のあっせん ・農地の利用の集積 ・地域の農地利用状況の調査 ・法人化その他農業経営の合理化 ・遊休農地の所有者に対する指導・勧告 ・地域の農業者による話し合い活動(人・農地プランの作成等) 	<p>・実際に選挙が行われているのは、全国で約1割のみ。</p> <p>・選出までのプロセスが不透明</p> <p>②の現場活動が必ずしもうまくいかず、耕作放棄地が増加したり、担い手への農地利用の集積・集約化が円滑に進まないことがある。</p>	<p>●農業委員 19名</p> <p>選出方法</p> <p>■推薦・公募により募集し、市町村議会の同意を得た上で、市町村長が任命する。</p> <p>○認定農業者が過半数以上、女性・青年の登用</p> <p>業務内容</p> <p>◎委員会に出席して、最終的に合議体として決定することが主体(これに加えて、現場活動を行うことは可能)</p>
	<p>H29.7.19</p> <p>解決策</p> <p>透明なプロセスを経て確実に就任するような選出方法へ変更する。</p> <p>農業委員会の機能が、委員会としての決定行為と各委員の地域での現場活動の2つに分けられることを踏まえ、それぞれの確に機能するようにする。</p>	<p>新設</p> <p>●農地利用最適化推進委員 28名</p> <p>選出方法</p> <p>■推薦・公募により募集し、農業委員会が委嘱する。</p> <p>業務内容</p> <p>◎担当区域において、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等の地域における現場活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランなど、地域農業者等の話し合いを推進する ・農地の出し手・受け手へのアプローチを行う、農地利用の集積・集約化を推進する。 ・耕作放棄地の発生防止と解消を推進する。



山都警察署・署協議会だより

TEL 72-0110

熊本県警のホームページ
http://www.police.pref.kumamoto.jp/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、県警からのお知らせ等が掲載中です。

熊本地震から早1年…災害への備えは大丈夫ですか？

災害から「命」を守るために

昨年の山都町は、「平成28年熊本地震」をはじめ、梅雨期の局地的豪雨など、災害により甚大な被害を受けました。
また、県内でも多くの家屋の倒壊や、道路の損壊により生々しい傷跡が残り、1万人を超える方が仮設住宅等での生活を余儀なくされるなど、復興への道のりは始まったばかりです。
これらの災害の驚異を風化させることなく、教訓として受け止め、災害から「命」を守るために、今こそ真の備えをしなくてはなりません。
日頃から避難要領・持出品等の確認をして、起こりうる災害に備えましょう。

最低3日分は確保!!



【災害時の必需品】

- 貴重品～現金、通帳、印鑑、健康保険証、免許証など
 - 非常食等～レトルト食品、缶詰、ミネラルウォーターなど
 - 携帯ラジオ、懐中電灯、携帯電話等の充電器材など
 - 電池、ライター、固形燃料、ティッシュ、ラップ、ビニール袋など
 - その他～ヘルメット、簡易トイレ等防災用品、衣類、タオル、雨具など
- ※“非常持ち出し袋”を準備して、目に付きやすいところに置いておきましょう。

家庭で防災会議を

- いつ発生するか分からない災害に備えて、日頃から家庭で災害時の行動等について話し合いを行いましょう。
- 家族の連絡方法(例：災害用伝言ダイヤルの使用方法等)
 - 集合場所、避難経路・避難場所の確認
 - 家族一人一人の役割分担
 - 自宅付近の危険な場所の把握



登山シーズン到来！遭難事故にご注意を!!

だんだんと暖かくなり、気軽に登山、ハイキングなどを楽しむ季節となりました。万全な計画と装備で安全に登山を楽しみましょう。

- ① 登山届の提出は済んでいますか。
- ② 家族や知人に登山の日程を連絡しましたか。
- ③ 余裕のある計画を立てていますか。
- ④ 気象情報を確認しましたか。
- ⑤ 合羽、ライト、携帯電話、防寒具を携行していますか。
- ⑥ 食料品、飲料水は余分に準備していますか。
- ⑦ 地図、コンパス、GPS、笛などを準備していますか。



犯罪・交通事故発生状況(山都町)	
事件・事故	平成29年2月中
刑法犯	1件 (4件)
人身交通事故	0件 (2件)

()内は平成28年同時期の発生状況